

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 各務原市地域公共交通会議

平成 25 年 1 1 月 2 5 日設置

フィーダー系統 平成 29 年 6 月 23 日 確保維持計画策定

# 1.協議会が目指す地域公共交通の姿（Plan）

## □各務原市の地域特性、背景

- ・市域は87.81km<sup>2</sup>で、市域の多くが平地
- ・人口は148,591人（平成29年11月1日時点）で横ばい
- ・高齢者の割合は増加傾向にあり、平成26年には25%超

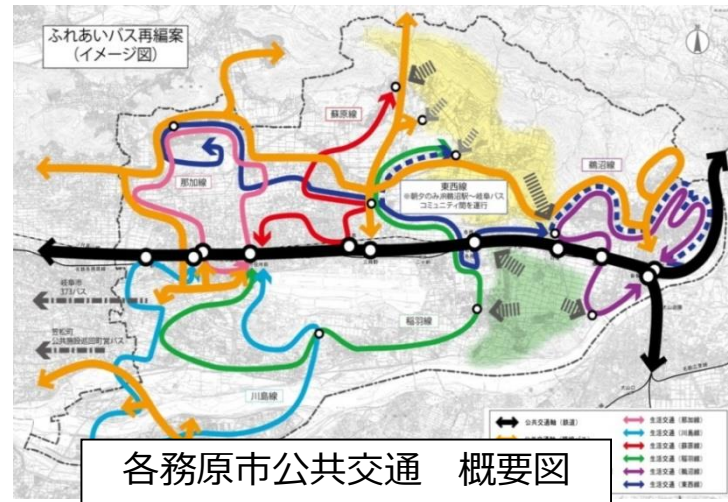
## □当市形成計画の目標・目標達成に向けた手法

- ・市内に存在する多様な交通手段が連携した環境にやさしい公共交通ネットワークを形成し、市民の移動ニーズに応じたサービス提供を目指す

## □各務原市における公共交通について

- ・鉄道、路線バス、民間タクシーに加え、コミュニティバス、デマンドタクシーが運行
- ・平成27年8月に網計画を策定。同年10月に各務原ふれあいバス（以下、ふれあいバス）再編

鉄道	: 名鉄犬山線・各務原線（12駅）、JR高山本線（4駅）
路線バス	: 岐阜バス12系統、名鉄バス2系統
民間タクシー	: 5事業者の営業所が存在、市全域を網羅
コミュニティバス等	: 各務原ふれあいバス（7路線）、各務原ふれあいタクシー（2地区）



各務原市公共交通 概要図



## 調査事業

## 意見交換

## 利用促進・利便性向上

昨年度  
利用が少ない便の  
乗降調査

昨年度  
調査事業を踏まえた改正案提案  
ふれあいバス車内の意見箱設置

ぬり絵イベントの開催

- ・ふれあいバスキャラクターのぬり絵を募集、運行車両に掲示  
→親子層の新規取り込みを図る



次回改正案の作成



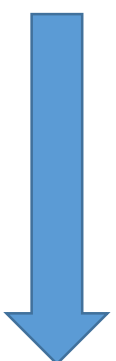
市民アンケート調査  
網計画の中間評価に向けたアンケート調査  
配布数：3,000枚  
回収数：1,098枚  
回収率：36.6%

懇談会の開催  
改正案の説明・意見交換  
計190人の市民が参加（12会場13回）  
交通事業者も可能な範囲で参加し、路線バスの近況、改正案について説明



航空宇宙博物館へのアクセス掲示

- ・ウェブや鉄道駅に接するバス停標識等に 博物館⇄駅 の時刻掲示



一部改正 (H31.10)



交通事業者との定例会（毎月）  
公共交通会議



各種出前講座

- ・シルバードライビングスクール
- ・中学校の授業 等

ふれあいタクシー乗り方教室  
&ふれあいタクシー無料週間

- ・懇談会に合わせて教室を開催し、無料期間へ繋げて新規顧客を狙う

網計画の後期5年間の目標設定及び実施計画策定

- ・利用実績やアンケート調査による各種指標の状況を整理、分析、後期計画の目標設定へ繋げる
- ・改正内容やこれまでの利用促進事業について反映

## □ 当市網計画で示す評価指標

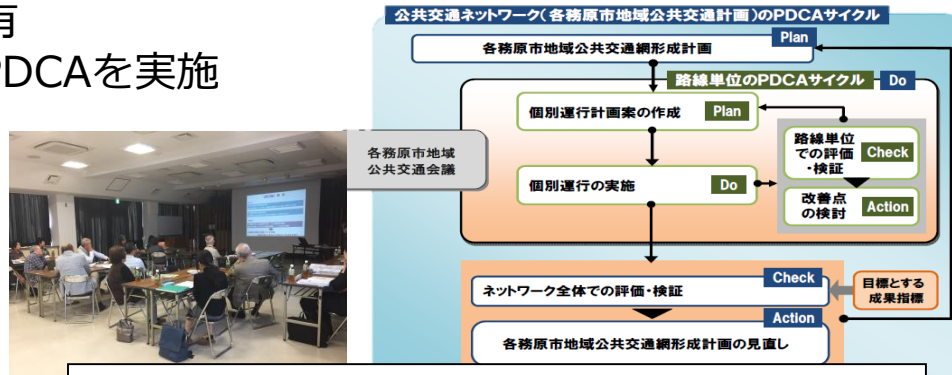
内容	現状 (計画策定時)	目標指数	現状
鉄道、路線バスの利用者数 市内鉄道駅乗降者数 路線バス利用者数	14,505千人 (H24年) 475千人 (H24年)	現状維持	15,587千人 (H29年時点) 368千人 (H29年時点)
日頃バスを利用する人の割合	27% (H25年)	32%	24%
ふれあいバスの年間利用者数	16万人 (H25年)	20万人以上	22万人
公共交通利用の不満割合	26% (H25年)	現状未満	20%

## □ 生活交通確保維持改善計画における評価指標

ふれあいバス川島線：1便あたりの乗合率 前年以上 (8.3人/便 以上)  
 ふれあいバス蘇原線：乗車人数5人/1便以上、25,500人/年 以上)  
 ふれあいバス東西線：乗車人数5人/1便以上、10,000人/年 以上)

## □ 目標達成に向けた手法及び自己評価について

- ・ 目指す姿を地域住民、交通事業者、行政で共有
- ・ 三位一体で公共交通の維持・活性化に向けてPDCAを実施
- ・ 数値による評価に加え、地域懇談会等の意見、要望等から自己評価を実施  
 地域懇談会等では、調査事業の結果や改正案を提案の上、意見交換を実施。
- ・ 本自己評価は、平成31年1月15日の公共交通会議にて協議



懇談会の様子 (左)、公共交通のPDCAサイクル (右)

## 4. 具体的取組みに対する評価指標とその結果 (Check)

- 利用実績及び市民の意見や評価等を踏まえて実施（国庫補助対象路線は**橙色**）

評価指標 A：サービス維持 B：路線継続 C：路線見直しの必要性有

種別	路線	利用者数（人）	乗合率	補助	評価指標	評価
ふれあいバス	鶺沼線	45,309 (+1,131)	8.1 (+0.2)	県補助		A
	那加線	29,775 (+482)	8.2 (+0.1)	県補助		A
	稲羽線	38,731 (+5,067)	9.4 (+1.3)	県補助		A
	川島線	30,821 (+5,500)	10.2 (+1.8)	地域間幹線	8.3人/便以上	A
	蘇原線	52,646 (+3,606)	7.7 (+0.5)	フィーダー	25,500人/年、5.0人/便	A
	東西線	17,309 (+1,153)	7.0 (+0.3)	フィーダー	10,000人/年、6.6人/便	A
	朝夕便	3,111 (▲361)	3.1 (▲0.5)	県補助		B
ふれあいタクシー	須衛・各務	3,239 (+49)	1.2 (▲0.1)	県補助		A
	鶺沼南	1,797 (▲114)	1.2 (±0.0)	県補助		B
全体		222,738 (+16,513)	バス：8.3 (+0.7)		200,000人/年	A

### 路線ごとの主な状況

- 鶺沼線、那加線、蘇原線：周知活動や利用促進によりH27年の再編後、継続的に利用増
- 稲羽線、川島線：通学利用に加え、直近は**航空宇宙博物館リニューアルに伴う観光利用が急増**
- 東西線、朝夕便：乗合率が少ない時間帯あり（→調査、懇談会を経てH31.10見直し予定）
- 須衛・各務、鶺沼南：新規利用者が少ない（固定客が離れて利用者数減、新規の利用促進施策検討）

### 具体的な取組みに対する評価

- 福祉部局と連携した親子層向けの利用促進等、ターゲットに合わせた利用促進施策を実施
- 継続的な懇談会や利用促進等により、再編以降、継続的に利用者数が増加  
再編前（H26）と比較して、62,110人/年の利用者増

## 課題

## 対応方針

## 鉄道との乗り継ぎ

- ・各鉄道駅の乗り継ぎが合わない時間が存在
- ・乗り継ぎのニーズが多様化

## 【対応方針・方法等】

- ・調査、懇談会の継続によるニーズ把握を実施
- ・乗り継ぎ確保の重要度が高い鉄道駅等の把握

## 路線バスの利用者減、運転手不足

- ・路線バスの利用者数減少
- ・運転手不足
- ・上記による路線バス事業の縮小（減便等）

## 【対応方法】

- ・各バス路線の役割を明確化、
- ・各路線に合った利用促進等を実施
- ・運転手募集についても側面支援を検討

## ニーズと合わない東西線・朝夕便

- ・通学や通院利用を見込んだ便の利用が少ない
- ・17時以降の便（通学）…2.0人/便
- ・8～9時台便（通院）…1.0～2.0人/便

## 【対応方法】

- 平成29年度
- ・東西線、朝夕便の利用実態調査（乗降調査）
  - ・懇談会にてニーズ把握
- 平成30年度
- ・ニーズを踏まえた改正案の検討  
東西線・朝夕便の当該便を廃止  
稲羽線、川島線の拡充

→H31年10月改正予定

## 稲羽線・川島線の拡充要望

- ・稲羽線…アピタや東海中央病院へ8～9時台の便
- ・川島線…市役所前駅行最終便14:55発が早すぎる（帰路の足がない）

## 那加線のダイヤ検討

- ・那加線ダイヤと東西線と重複し分かりづらい
- ・東海学院大学や岐阜清流高等特別支援学校（大洞団地線との乗り継ぎ）の通学時間に合わない

## 【対応方法】

- ・那加線ダイヤの調整を検討

→H31.10月改正予定

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

## 各務原市地域公共交通会議

平成25年11月25日設置

フィーダー系統 平成29年6月23日 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
ニーズ調査の結果等の結果も踏まえ、より高い利便性の確保を目指すこと。	路線単位の見直しを実施し、調査、懇談会を経て具体的にニーズのない路線の見直しを実施予定。	利用ニーズの見られない便を廃止し、同時時間帯でニーズの高い他路線を増便する改正案を検討中（H31.10改正予定）。
ふれあいタクシーの仕組みが分かりづらいため、ダイヤ設定の必要性等を検討してはいかかがか。	バスとの乗り継ぎ確保のため、現時点ではダイヤ設定の撤廃は行わず、既存の仕組みを基に利便性向上や利用促進の取り組みを展開した。	継続的に利用方法の周知や利便性を向上できる利用促進、改正案を検討、実施していく。
再編により乗り継ぎ利用が発生したことで利用者が伸びたことも考慮して利用実態を把握すること。	継続的に利用者数は増えており、網計画の目標指数20万人をこえて、22万人/年の利用者となっている。	路線によっては利用者数が落ち着き始め、維持に向けて様々な層への利用促進策を展開する。
ふれあいタクシーのヘビーユーザー化、乗合率についても考慮すること。	新規利用獲得に向けた利用促進や事業者と調整し、乗合率向上に向けた取り組みを実施。	継続的に利用促進、利便性向上を図っていく。
地域懇談会では、意見を聞くだけでなく、自分たちのメッセージを持って伝えた方が良い。	調査結果を踏まえた市の方針や改正案に加え、路線バス等の現状についても説明。	今後も行政や交通事業者の考えや取り組みを発信する取り組みを展開していく。



# 2.アピールポイント

## 観光施設へのアクセス周知

「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」リニューアルに合わせて、ふれあいバスでのアクセスを案内  
 (鉄道駅のバス停留所、博物館ウェブサイト等)  
 → **博物館へ入る稲羽線、川島線の観光利用増**

## 路線バスも含めた利用促進

路線バスも含めた公共交通の利用促進策を実施

- ・ 土日祝日 1日乗車券の設定 (H28年~継続)
- ・ 中学校へ、高校通学で利用できる路線バスダイヤを案内

航空宇宙博物館から各駅へのふれあいバスでのアクセスについて

【平日】 岐阜大学病院前、三輪駅、笠原駅、稲羽駅、川島駅

路線	行先	時刻
岐阜大学病院前	三輪駅	10:32
三輪駅	笠原駅	11:49
笠原駅	稲羽駅	12:17
稲羽駅	川島駅	13:05
川島駅	三輪駅	14:30
三輪駅	笠原駅	15:47
笠原駅	稲羽駅	16:37
稲羽駅	川島駅	17:30

【土日祝日】 岐阜大学病院前、三輪駅、笠原駅、稲羽駅、川島駅

路線	行先	時刻
岐阜大学病院前	三輪駅	10:32
三輪駅	笠原駅	11:49
笠原駅	稲羽駅	12:17
稲羽駅	川島駅	13:37
川島駅	三輪駅	14:59
三輪駅	笠原駅	15:27
笠原駅	稲羽駅	16:05
稲羽駅	川島駅	17:02
川島駅	三輪駅	17:55

停留所に添付した案内 (路線、行先毎に色分け)

2. その他の岐阜市内の高快へ(平日朝)

岐阜駅まで

路線	乗車停留所	降車・乗り継ぎ	運賃
岐阜バス 岐阜川島線	川島中学校前	6:21 → JR岐阜 6:54	610円
		7:16 → JR岐阜 7:54	

岐阜駅から学校まで(バス)

公・私	学校名	路線	乗車停留所(のりば)	時刻	降車停留所	時刻	アクセス	運賃	
県立	岐阜	曾我屋線ほか	8, 10	→	西野町7	7:53	徒歩3分	210円	
		岐阜大学・病院線ほか	8, 9, 11	→	西野町	7:53	徒歩7分		
	岐阜北	岐阜大学・病院線ほか	8, 9, 11	→	北高前	7:53	徒歩7分		
		岐阜山	岐阜高富線	12	→	長良高見	7:53		徒歩7分
	長良	松新加納線、おぶさ墨俣線	13	→	長良高前	7:53	徒歩0分		
		岐阜大学・病院線ほか	8, 9, 11	→	北高前	7:53	徒歩6分		
	岐阜商業	忠節長良線	8	7:29 →	東岐阜前	7:45	徒歩0分		
	岐阜工業	鏡島市橋線	6	7:12 →	科学館前	7:24	徒歩2分		
	岐阜総合学園	おぶさ墨俣線ほか	6	→	北高	7:53	徒歩5分		320円
	岐阜城北	西田三田潤線	12	7:17 → 7:37	岐阜城北高校前	7:53	徒歩3分		360円
市立	市岐阜商業	岐阜高富線	7	7:09 →	鏡島小学校前	7:28	徒歩10分	280円	
		鏡島市橋線	10	7:24 →	市岐阜前	7:53	徒歩5分	210円	
私立	登谷	岐阜高富線ほか	11, 12, 13	→	メディアコスモス・登谷高校口	7:53	徒歩7分	210円	
	岐阜聖徳学園	おぶさ墨俣線ほか	6	→	岐阜聖徳学園高校前	7:53	徒歩3分	280円	

中学校にて配布したチラシ (一部抜粋)

## 「親子層」を狙った利用促進策

- ・ 市内子ども館 (小型児童館) にて、ふれあいバスキャラクターの塗り絵を募集
  - ・ 応募者へふれあいバスパーパークラフトを配布
  - ・ いつ・どの車両に掲載されるか案内し、全応募作品 (165作品) を運行車両へ掲載
- 子どもたちにふれあいバスを知ってもらう  
 → 子育て世代への利用促進

ふれあちゃん 3 ふれたくん

### ぬり絵掲載案内(そはら子ども館)

平成30年9月に応募いただいたぬり絵をふれあいバス車内で掲載します。

掲載車両番号(ナンバープレートの4桁番号)  
 「11-89」(稲羽線を主に運行)

たくさんのお申込み、ありがとうございます。

掲載期間等の都合上、バス車内への掲載は、最終ごとのみ掲載させていただきます。ご了承ください。  
 下記は、ご応募いただいた作品の順番に掲載されたものを掲載しています。同名の親子層が1枚・1枚・5枚、確認ができぬ場合は、子ども館の先生または、市工芸課(下記に連絡先)までお問い合わせください。

(左) 子ども館での掲載案内  
 (右) バス車内での掲載の様子

掲載期間

掲載期間①: 10月11日~10月24日

00 00 さん.	△△ △△ さん.
00 00 さん.	〃
〃	〃
〃	〃

